

# 【INACOME】起業者と地域課題のマッチングプログラム 実施レポート

作成日：令和3年2月21日

作成者：いなか伝承社 田中寛人

## ■属性

受入希望自治体：高知県北川村

地域課題テーマ：地域資源を活かした新たな事業の創出

マッチング起業者：いなか伝承社 田中寛人

## ■レポート内容

### 1. 提案概要

#### <テーマ>

未利用資源の掘り起こしから始める地域資源活用、また、既存地域資源の新たな切り口を探す地域資源活用の仕掛けづくり

#### <提案内容>

- ① 文献調査及び現地調査にて未利用・低利用地域資源を多数掘り起こす。
- ② 既存の地域資源の新規利活用方法の調査（違った方向から見る）
- ③ 掘り起こした①と②の地域資源の詳細調査、及び実現可能性調査、優先順位付け
- ④ 掘り起こした地域資源の可視化に向けたモニターテスト又は小さな実践
- ⑤ 掘り起こした地域資源で仕掛ける。

パターンA：私田中が実施する

パターンB：地域内の関心のある人材と実施する

パターンC：県内外の移住者/移住希望者と実施する

パターンD：移住希望者ではないヨソモノも巻き込んでみんなでやる

（ファンを作るところから交流の意味も込めて実施）

仕掛け方は、地域おこし協力隊の活動テーマや地域プロモーション動画、SNS発信、ご当地商品開発、ここにしか無い観光用体験コンテンツ化、移住促進用体験コンテンツ化、起業や地域の方の第二創業等。北川村のファンを増やすという意味でも、中長期的視点で実施。

※最初に時間をかけて一気に多数の地域資源を調べることで、地域側の住民が興味を持つテーマが現れる可能性が高まり、地域側も関わりやすくなる。

※多数の地域資源を掲げることで、なるべくお金をかけずに実施できる企画（自然系や文化系、食系など）も現れやすくなり、地域側が関わりづらい「大きなコト」ではなく、「小さなコト」「身近なコト」から関わることができ、苦労+成功体験を積み、地域側人材の育成にもつながります。

※ここでいう「地域資源」とは、

建物、景観、自然、伝統産業、農林産物、植物、動物、昆虫、かつての暮らしそのもの、民具、郷土料理、地域の人を持つスキルや技術など幅広いジャンルを含む。

## 2. 調査報告

### <調査スケジュール>

2/3 一般社団法人日本の農村を元気にする会代表理事（北川村副村長）の野見山様にメール及び電話にてスケジュールの調整を頂きました。

2/4 一般社団法人日本の農村を元気にする会代表理事（北川村副村長）の野見山様にメール及び電話にてスケジュールの調整を頂きました。

北川村に関する紹介パンフレット及び村の広報の事前送付のお願いを致しました

2/6 一般社団法人日本の農村を元気にする会代表理事（北川村副村長）にメール及び電話にてスケジュールの調整を頂きました。

速達にて事前送付の資料受け取り。

### <調査結果の詳細>

全て自家用車(とフェリー)で移動。

2/6 自宅(和歌山県)出発

2/7 和歌山港 0:30 発の南海フェリーにて徳島港着

フェリー内で事前送付頂いた資料を確認し、基本的な地域資源の把握。

車で高知に移動しながら、徳島県阿南市「道の駅「公方の郷ながわ」、徳島県美波町「道の駅「日和佐」、徳島県海陽町「道の駅「穴喰温泉」、高知県東洋町「海の駅 東洋町」、高知県室戸市「「室戸世界ジオパークセンター」「道の駅「キラメッセ室戸」、高知県奈半利町「「奈半利町物産館 無花果」「マルナカ奈半利店」、高知県田野町「「道の駅「田野駅屋」「サンシャイン ゆい店」、高知県安田町「輝るぽーと安田」、高知県安芸市「安芸駅ぢばさん市場、安芸観光情報センター」訪問。調査地域の北川村でそこにしか無い地域資源を掘り起こすため、周辺エリアの各施設の産品(生鮮品、加工品、民芸品)を調査、また施設に設置されている観光情報誌や観光パンフレット、移住関連パンフレット等を収集し、現在の季節には見られ無い産品の情報も調査。

19:30 北川村入り。北川村民会館にて図書室の文献による地域資源調査

21：00 野見山様及び北川村地域活性化協議会メンバーの皆さまと顔合わせ

2/8 文献による地域資源調査

北川村木積地区住民の新田様から地域資源の聞き取り調査及び森林鉄道跡の現地調査

地元の田中勘助商店にて地域製品の調査

北川村久江ノ上地区住民の松崎様と交流、地域資源の聞き取り

2/9 前日から続けて松崎様より地域資源の聞き取り

久江ノ上地区の森林鉄道およびゆず畑のフィールド調査

北川村島地区住民上村様より地域資源の聞き取り

北川村役場移住相談員の中村様より地域資源の聞き取り調査

北川村観光協会橋本様より地域資源の聞き取り調査

中岡慎太郎館の学芸員豊田様より地域資源の聞き取り調査

地元の田中勘助商店にて地域製品の調査

2/10 前日から続けて松崎様より地域資源の聞き取り

地元の田中勘助商店にて地域製品の調査

北川村温泉 ゆずの宿にて地域製品の調査

<考察>

調査の結果、北川村の活用できそうな地域資源として、

- ・観光施設「モネの庭」マルモッタン
- ・地元の年配の住民の皆さまのスキル及び知恵
- ・柚子
- ・柚子以外の郷土料理（山菜、川魚、保存食など）
- ・森林鉄道跡 があり、

それらを活用した北川村にしか無い魅力的でユニークな体験プログラム事業及び、体験プログラムを通じた交流人口の創出・移住促進プログラムや学びを通じた人材育成プログラムが造成可能であると考えられた。

一方、事業展開に当たっての課題として、毎回出張するわけにはいかないので、地域側の地域おこしに関わり連携できる実践可能なプレイヤーが必要であるが、今のところはその数が限られており、プレイヤーの探索又は人材育成も同時に進める必要があると感じられた。

3. 対象地域における今後の事業展開

今回の調査は非常に限られた時間と限られた場所内だったため不十分感は否めないが、北川村にて若者がチャレンジできる場を作るためには、資金面や住宅面は置いてお

いておくとして、活用できる有効な地域資源はあると思われた。

まずは若者がチャレンジできる場であることを日本中に発信するためにも、他の農山漁村で既に行われているような事業を展開するのではなく、規模が小さくとも他の地域には無いユニークなことを北川村で行い、それに関心を持つ人口をどんどん増やして移住や起業に結び付ける方が実を結びやすいと考えます。

そのためには当社が提案するプランにて、考察に記載した地域資源を活用して課題解決に結び付けることが可能です。

今後の展開として、あくまで地域課題の解決を主題としているため、提案した企画を地域の皆様で一度検討して頂き、関心を持って頂いた内容について、地域の皆さまも一緒に、そして私以外の外部プレイヤーも巻き込みながら実践に向けて動いていければと考えております。

2021年春まで：地域側の感想把握

行政・観光協会・北川村地域活性化協議会等の皆さまと打合せ

2021年夏：モニター事業実施に向けて活動

2021年秋～2022年春まで：モニター事業実施

以上